

# 令和4年度第1回八千代市国民健康保険事業の運営に関する協議会会議録

## 1 開会、閉会等に関する事項及び日時

### 会議次第

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶
- (3) 委員及び職員の紹介
- (4) 臨時議長の選出
- (5) 会長及び副会長の選出
- (6) 会議録署名委員の指名
- (7) 国民健康保険事業の概要について
- (8) 議題  
    諮問第1号 出産育児一時金の支給額の改正について  
    諮問第2号 国民健康保険料の賦課限度額の改正について
- (9) その他  
    国民健康保険料の軽減判定基準額の改正について  
    令和5年度国民健康保険料予算見積状況について
- (10) 閉会

場所 八千代市役所 4階 第1委員会室

日時 令和5年1月25日(水) 午後7時00分～午後8時10分

会議の公開・非公開 公開

傍聴人数 2名(定員 4名)

## 2 出席及び欠席委員 (委員総数13名中9名出席)

(出席) 渋谷会長, 永井副会長, 樫田委員, 柳委員, 加瀬委員, 土井委員, 河野委員, 小川委員, 矢代委員

(欠席) 岡田委員, 宮崎委員, 松村委員, 佐宗委員

## 3 議題及び審議の経過

### 会長及び副会長の選出

臨時議長を国保年金課長とし, 選出方法を諮ったところ推薦となり, 会長に渋谷委員, 副会長に永井委員が推薦され, 異議なしで決定した。

### 国民健康保険の概要について

#### ○事務局説明

資料1「令和4年度第1回八千代市国民健康保険事業の運営に関する協議会 説明資料1～5ページ」により事務局から説明

○意見・質疑応答

(議長)

ありがとうございました。

今のご説明で、質問はございますでしょうか。

もう少しここを聞きたいとかがあれば。

(委員)

5 ページの表の見方で少し教えていただきたいのですが、決算状況のところですけども、例えば令和3年度で財政調整基金からの取り崩しが2億5,400万円で、一方で基金への積み立てが31万5,000円と、基金の方から見ると国保会計の方に出した金額が2億5,400万円減っていてもいいのかなと思うのですが、一番下の基金の現在高は1億1,000万円ぐらいしか減ってないというのは、これはどのように見たらよろしいのでしょうか。

(議長)

事務局どうぞ。

(事務局)

お答えさせていただきます。

令和2年度と令和3年度で約1億1,000万円程度減額になっているのですけれども、こちらの見方といたしましては、まず令和3年度の財政調整基金からの取り崩しということで、こちらについては財政調整基金から歳計の方に取り崩して2億5,000万円ほど繰り入れてあります。

ただ決算で、令和2年度の収支額から基金への繰入金が1億4,000万円ほど出ましたので、その差し引きということで、基金としては約1億1,000万円程度減っているというような見方になります。

(委員)

それは取り崩していないということなののでしょうか。

一旦取り崩してから、もう一度積み立てたということでしょうか。

(事務局)

決算金が出るのが例年6月になります。その当該年度については2億5,000万円を基金から取り崩していたのですが、前年度の決算剰余金として1億4,000万円ほど入ってきたため、その差し引きで1億1,000万円程度基金が減ったという見方になります。

(委員)

この下に書いてある財政調整基金への積み立て 31 万 5,000 円が違うってわけでもないのですね。

(事務局)

こちらの方の積み立てにつきましては利子分という形になります。

(委員)

ここが増える予定とかそういうことですか。来年になると。

(事務局)

既に積んである基金約 7 億 5,000 万円に対して、毎年利子が発生するので、その利子分を積み立てているという形です。

(委員)

来年の表になると繰越額が積み立ての方に動いてきて、7 億に合うとかそういうことですか。

そういうわけでもない。

(事務局)

そういうわけでもないです。少し見づらい表なのですが。

(議長)

決算状況の表としてはいいと思うのですが、私たちとか市民の方からするとなかなかこれだけだと分からないですね。

表の工夫が、もう少しあると私たちも分かりやすいかもしれませんね。

ぜひ少し工夫をお願いできればと思います。

(事務局)

今後見やすいような表を心がけてまいりたいと思います。

(議長)

皆さん、ご理解いただけましたでしょうか。

難しいですね。

(委員)

単年度ごとの決算収支の表になっているので、これだけ見ても基金の残高の変動というものが読み切れないですよ。

これを見ただけで理解するっていうのは非常に難しいなと感じがしました。

(議長)

基金から繰り入れる時期と決算の時期が違うからですね。

他にいかがでしょうか。

今の全体の説明についてご質問ございますか。

また最後にその他でもお聞きしようと思うので、この先の議事を進めていきたいと思えます。

#### 諮問第1号 出産育児一時金の支給額の改正について

##### ○事務局説明

資料1「令和4年度第1回八千代市国民健康保険事業の運営に関する協議会 説明資料7～13ページ」及び資料2「出産育児一時金等の支給額の引上げに伴う関係政令等の改正内容について」により事務局から説明

##### ○意見・質疑応答

(議長)

諮問第1号は、令和5年4月1日以降の出産を対象とする一時金、これを現行の40万8,000円から48万8,000円に引き上げることについての諮問でございます。

国の方針、そして一時金の額が現実に見合っていない。

13ページの資料には千葉県の場合、中央値が48万円ですから、これでもぎりぎり自己負担も出てくるのですかね。

その中での引き上げでございます。

まず今の説明、制度そのものについて、意見ではなく、質問がございましたら挙手をお願いします。

(委員)

資料1の12ページ、出産費用の推移、ちょっと白黒なものですからどの線が何なのかよく分からないので、大体予測はつくのですが、上からで結構ですので教えていただけますでしょうか。

(事務局)

お答えいたします。

50万円の方が私的病院の出産費用、47.3万円の方が全施設の出産費用、46.8万円の方が診療所の出産費用、45.5万円の方が公的病院の出産費用となっております。

(委員)

ありがとうございました。

(議長)

他に質問ございますか。

それでは意見として、反対の立場からのご意見ございますか。

まあいいことなので誰も反対の意見はないと思うので。それではありがとうございます  
いました。

それでは諮問でございますので、諮問 1 について了解いただける方は挙手をお願い  
いたします。

ありがとうございます。

全会一致ということで諮問 1 については了解いたしました。

それでは諮問 1 については、原案どおり承認いただいたということを市長の方に  
答申をいたします。

## 諮問第 2 号 国民健康保険料の賦課限度額の改正について

### ○事務局説明

資料 1「令和 4 年度第 1 回八千代市国民健康保険事業の運営に関する協議会 説  
明資料 15～20 ページ」により事務局から説明

### ○意見・質疑応答

(議長)

まず今の説明についてのご質問ありますでしょうか。

(委員)

確認なのですが 15 ページの表では、令和 4 年度の時点で後期高齢者支援金等分  
の賦課限度額が 22 万円となっておりますが、今回の改正は令和 4 年度じゃなくて  
令和 5 年度からということでもいいのですよね。

(事務局)

そのとおりでございます。

(議長)

これを直すとしたらどちらを直すのですか。

(事務局)

15 ページは令和 4 年度の状況となりますので、こちらの後期高齢者支援金等分の  
賦課限度額を 20 万円に直させていただく形でお願いします。

(議長)

網掛けの 22 万円を 20 万円に訂正ということで。

(事務局)

よろしくお願いします。

(議長)

令和5年度から限度額が上がるということで、資料1の18、19ページはその影響額について、20ページは、それに達する世帯というのはかなり所得がある世帯だということの説明という理解でよろしいですね。

質問ほかにございますか。

(委員)

16ページの表で、平成25年の時は総額で77万円ぐらいだったものが、今104万円ぐらいまで上限が伸びているのですが、これはこの先最大どのぐらいまで伸びていく見込みなのですかね。

毎年毎年2万、2万、2万と増えていくのですかね。

(議長)

はいどうぞ。

(事務局)

お答えさせていただきます。

こちらの方は国の制度ですので、今後賦課限度額のどちらの部分を伸ばしていくのかというのは分かりません。ただ、後期高齢者の人数も増加傾向にあり、それに伴い医療費も増えていっております。先日の報道でもありましたが、今後、出産育児一時金の方の原資を後期高齢者の方の保険料でといったようなお話も出ています。これに伴い、多少の後期高齢者医療保険料の値上げは行われると思いますが、医療費が増えていく中で、その財源を出産一時金に回すようなことになると、結果的に後期高齢者医療費の財源不足に繋がることが見込まれますので、今後は、後期高齢者支援金等分の負担が大きくなる可能性が高いのかなと見ております。

(議長)

意地悪な質問ではないと受け取ってくださいね。

国はよく分かりました。

八千代市として、ここは国に倣うという部分や、あるいは八千代市独自でこうしていくといった考えなどはあるのでしょうか。

(事務局)

今のところ、八千代市では国に倣ってというような形で考えております。

(議長)

先ほどの出産育児一時金を含めて全体の予算、今後の見込みですね。

それではどうでしょうか、賛成、反対の立場でご意見ございますか。

どうしても後期高齢者にターゲットがいつてしまっているというのは辛いところですが、現実論としてここに負担をお願いしようってこともありますもんね。

特に反対の意見ございませんか。

それでは諮問 2 について賛成いただける方は挙手をお願いいたします。

ありがとうございます。

それでは賦課限度額の改正については承認ということにいたします。

諮問 2 号についても原案どおり承認をいただいたということで、市長に答申いたします。

なお今回の諮問は 2 件でしたが、その答申書の内容については、この後、私と事務局の方で文面等を考えていきたいと思うのですが、会長の私に一任いただけますでしょうか。

ありがとうございます。

#### 国民健康保険料の軽減判定基準額の改正について

##### ○事務局説明

資料 1「令和 4 年度第 1 回八千代市国民健康保険事業の運営に関する協議会 説明資料 21～26 ページ」及び資料 3「令和 5 年度税制改正の大綱」により事務局から説明

##### ○意見・質疑応答

(議長)

この改正は、本協議会では、うんうんと聞いておくという内容なのですよね。

(事務局)

報告事項という形で、諮問は先ほどの 2 件でございます。

(議長)

これはこういった形で改定が国からも来ていて、決まっているものなのですよという報告でいいのですよね。

(事務局)

そういう形でございます。

(議長)

そのようなことなので、今の説明で分からなかったことについて、質問をお受けしたいと思います。

いかがでしょうか。

特によろしいですか。

## 令和5年度国民健康保険料予算見積状況について

### ○事務局説明

資料1「令和4年度第1回八千代市国民健康保険事業の運営に関する協議会 説明資料27～30ページ」により事務局から説明

### ○意見・質疑応答

(議長)

令和4年度の決算状況が出てないから、なかなか理解するのが難しいということですよ。

(事務局)

そうです。

あくまでも現段階の見込みになります。

(議長)

来年度の予算の状況ということですよ。

今のご説明で、何かご質問ありますか。

(委員)

確かに見方が難しく、少し整理をさせていただきたいのですが、29ページで現行の保険料率を変えずに令和5年度もいくと、その不足分として1億5,000万円、これを基金で賄うということですよ。

30ページの表で、基金の説明がサラッと書いてあって非常に分かりにくかったのですが、1行目のところで、令和3年度末現在高7億5,954万7,000円というのは、5ページの令和3年度の基金現在高年度末、この数字と合っていると思うのですが、これに令和3年度決算剰余金積立の2億1,000万円を加えたものとなっています。これがサラッと書きちゃっているのですが、要は令和3年度の収支の差額で4億1,400万円出ているので、その一部の2億1,000万円を加えるという理解でよろしいですよ。

その上で、令和4年度3月補正予算計上予定の2億340万8,000円、これは令和4年度中に国保会計で若干余裕が出たので、基金に繰り戻すというか、積み立てるというような金額が2億340万円ということなのかなと思うのですが、それでまず理解はよろしいのかということと、もしそうであれば、令和4年度で2億340万円

の余裕が出た、その主な理由というのは何だったのだろうかということをお聞きしたかった。

(委員)

お願いします。

(事務局)

お答えさせていただきます。

委員おっしゃられたような形の理解で大丈夫でございます。

令和3年度の決算剰余金といたしましては4億1,000万円ほど出ております。決算剰余金の約半分は、剰余金確定後に自動的に財政調整基金に繰り入れるという形になりますので、元の7億5,000万円に2億1,000万円を足した9億6,000万円ほどが、今年度途中の6月の基金残高になっています。

残り半分の2億円ほどにつきましては、年度末まである程度ストックしておき、年度間の執行の中で何か歳出が増えた場合の財源として活用しようと考えておりましたが、今年度中はそれほど歳出の増要因がなかったことから、残っていた剰余金を3月補正予算で積み立てるという理解で大丈夫でございます。

なお、令和3年度に多額の剰余金が発生してしまった要因につきましては、歳入を低めに見込み過ぎてしまったというところがございます。

新型コロナウイルスの関係もあり、令和3年度の保険料収入はかなり落ちるだろうと見込み、歳入も固めに見込んだのですが、実際はそこまで収入は落ちず、4億円ほどの上振れとなったというのが大きな要因となっております。

(議長)

要因というのは保険料がメインですか。

(事務局)

保険料です。

(議長)

委員いかがでしょうか。

(委員)

はい結構です。

(議長)

基金の残高が約11億7,000万円になる見込みとのことで、1、2年で億単位の増減があるのですね。

他の委員いかがでしょうか。

よろしいですか。

ありがとうございました。

議事そのものは全て終わったのですが、まだもう少し時間がございますので、せっかくだので、その他のその他ということで国保事業についてご質問であるとか、知りたいなと思うこと、もしございましたら特に被保険者代表の委員、何かございますか。

(委員)

先ほどデータヘルスの中間報告をパラパラッと見ていましたら、6ページの八千代市の人口推移のところ、65歳から75歳がまた少し増えてきていて、この理由がもし分かれば教えていただきたいのですが。

(議長)

人口の増のどこの部分でしょうか。

(委員)

図表の2-1、人口の推移のところなのですが、65歳から75歳未満のところ、平成の時代ですと上がってきて、令和で下がってきていますよね。後半になるとまた令和7年ぐらいで下がって、それからまた徐々にこう増えていっているのですが、これは団塊の世代のジュニアが出てくるからですかね。

(議長)

答えられますか。

(事務局)

年齢別の人口推計がありますので、そちらで八千代市に住んでいる方の年齢層を当てはめていった場合、このような形になります。やはり団塊の世代の方たちの層は厚いので、その世代が落ち着くとまた少なくなっていくというような傾向はございます。

(委員)

これから20年後にまた増えているわけですがなぜなのでしょう。

(事務局)

現在の本市の人口推計では、八千代市全体の人口としては、令和7年度をピークに減少に転じていくというような推計になっております。

今後、少子化という部分もございますので、人口はどんどん減っていくという傾向で推移していくと考えております。

(議長)

国保年金課に答えてもらうにはきつい質問ですかね。

他によろしいですか。

よろしいでしょうか。

はいありがとうございます。

閉会に向かっているのですが、事務局から連絡事項ございますか。

(事務局)

特にございません。

(議長)

分かりました。

では以上をもちまして、令和4年度第1回八千代市国民健康保険事業の運営に関する協議会を閉会とさせていただきます。

ご審議いただきありがとうございます。

なお、今後の協議会の開催日程につきましては、私と事務局の協議の上、またご連絡させていただきますが、予定では何月ごろの予定ですか。

(事務局)

今のところ、まだ諮問案件がございませんので、今後、国等の流れが見えましたら、招集をかけさせていただく可能性がございます。今のところ未定です。

(議長)

分かりました。

その際は日程の調整お願いいたします。

では本日はありがとうございます。